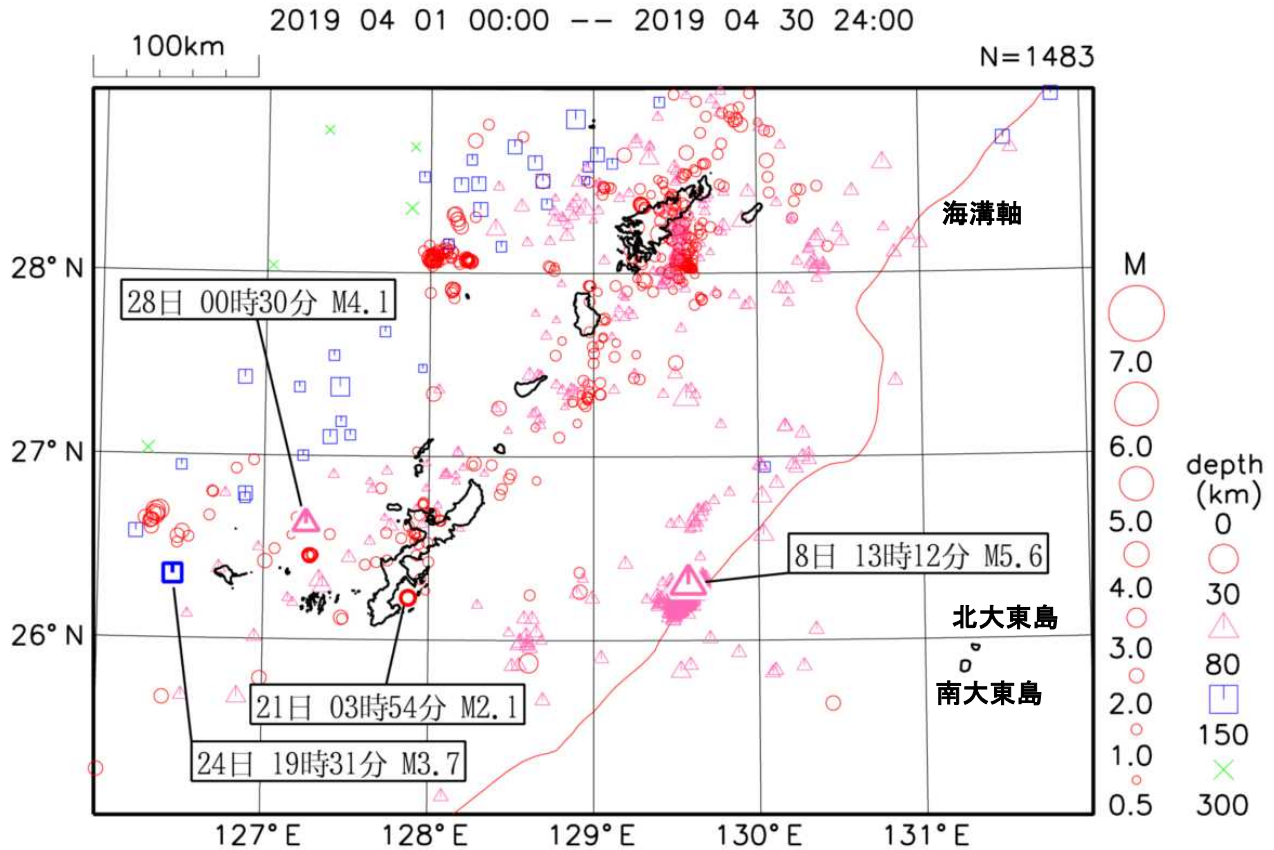


# 地震活動図

2019年4月

南大東島地方気象台

## 震央分布図



大東島地方及び沖縄本島地方で震度1以上を観測した地震を吹き出しで示しています。  
この他に、12日02時52分に最大震度1の地震が発生しています(震度分布図[資料3枚目]参照)。  
図中の記号 M: マグニチュード depth: 震源の深さ  
N: 地震回数(マグニチュード0.5以上の回数です)

### [ 概 況 ]

今期間に、大東島地方及び沖縄本島地方とその周辺(図の範囲内)で観測した地震は1483回(3月1061回)で、このうちM4.0以上の地震は17回(3月1回)でした。なお、大東島地方及び沖縄本島地方で震度1以上を観測した地震は5回(3月1回)あり、大東島地方でも震度1の地震を1回(3月0回)観測しました。

8日13時12分に沖縄本島近海で発生した地震(M5.6)により、国頭村、恩納村、うるま市、南城市及び鹿児島県喜界島で最大震度2を観測したほか、奄美大島から沖縄本島、南北大東島にかけて震度1を観測しました。

なお、大東島地方で震度1以上を観測したのは、2018年9月22日に沖縄本島近海で発生したM5.6の地震(北大東村で震度1)以来です。

大東島地方及び沖縄本島地方で震度 1 以上を観測した地震の表 (期間: 2019 年 4 月 1 日~30 日)

震源時 各地の震度 (沖縄県内のみ記載)	震央地名	緯 度	経 度	深 さ	規 模
2019 年 04 月 08 日 13 時 12 分 沖縄県 震度 2 : 国頭村辺土名*, 恩納村恩納*, うるま市石川石崎*, 南城市佐敷字佐敷* 震度 1 : 名護市豊原, 名護市港*, 国頭村奥, 今帰仁村仲宗根*, 本部町役場*, 那覇市樋川 那覇市港町*, 沖縄市美里*, 読谷村座喜味, 中城村当間*, 西原町与那城* 与那原町上与那原*, 座間味村座間味*, うるま市みどり町* うるま市与那城平安座*, うるま市与那城饒辺*, 南城市知念久手堅* <b>南大東村在所, 北大東村黄金山, 北大東村中野*</b>	沖縄本島近海	26° 18.4' N	129° 34.3' E	45km	M5.6
2019 年 04 月 12 日 02 時 52 分 沖縄県 震度 1 : 那覇市樋川	沖縄本島近海	24° 55.9' N	128° 09.3' E	82km	M5.0
2019 年 04 月 21 日 03 時 54 分 沖縄県 震度 1 : 宜野湾市野嵩*	沖縄本島近海	26° 13.7' N	127° 52.6' E	17km	M2.1
2019 年 04 月 24 日 19 時 31 分 沖縄県 震度 1 : 座間味村座間味*	沖縄本島近海	26° 20.9' N	126° 27.1' E	89km	M3.7
2019 年 04 月 28 日 00 時 30 分 沖縄県 震度 2 : 座間味村座間味* 震度 1 : 名護市豊原, 名護市港*, 国頭村奥, 国頭村辺土名*, 今帰仁村仲宗根* 本部町役場*, 恩納村恩納*, 宜野湾市野嵩*, 沖縄市美里*, 読谷村座喜味 渡嘉敷村渡嘉敷*, 渡名喜村渡名喜*, 久米島町山城, 久米島町謝名堂 久米島町仲泊*, 久米島町比嘉*	沖縄本島近海	26° 37.7' N	127° 15.3' E	68km	M4.1

\*の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

※ 資料中のデータについて

この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米田大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

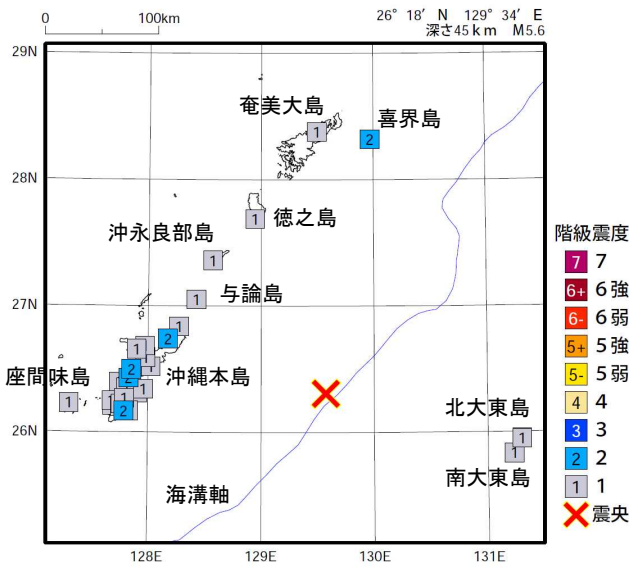
※ 概況中の震源の深さについて

震源の深さは、精度がやや劣るものは表記しないことがあります。

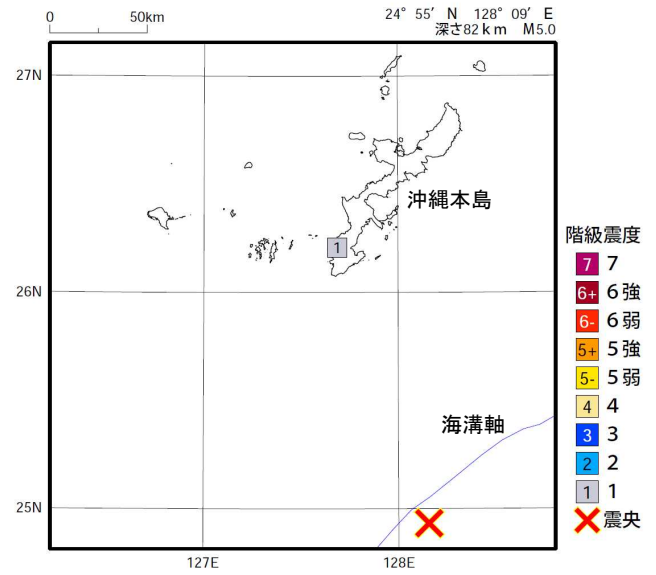
※ データについては精査により、後日修正することがあります。

# 大東島地方及び沖縄本島地方で震度1以上を観測した地震の震度分布図

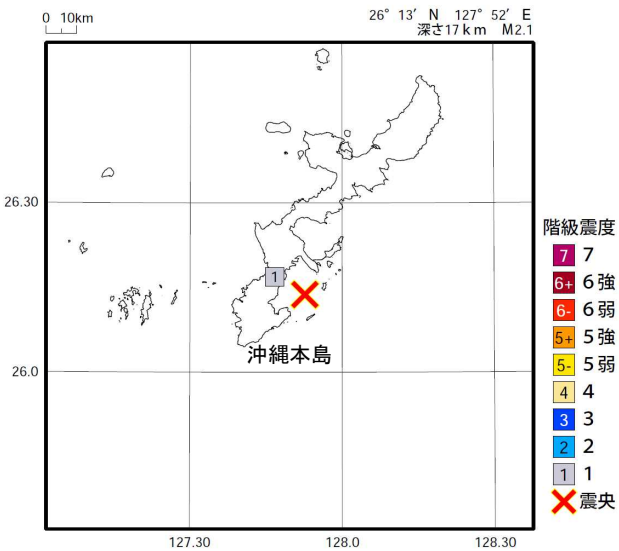
2019年 4月 8日13時12分 沖縄本島近海の地震の震度分布図



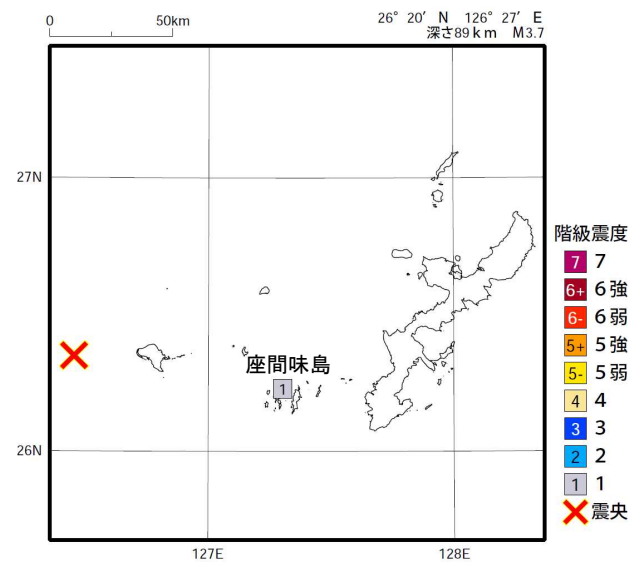
2019年 4月12日02時52分 沖縄本島近海の地震の震度分布図



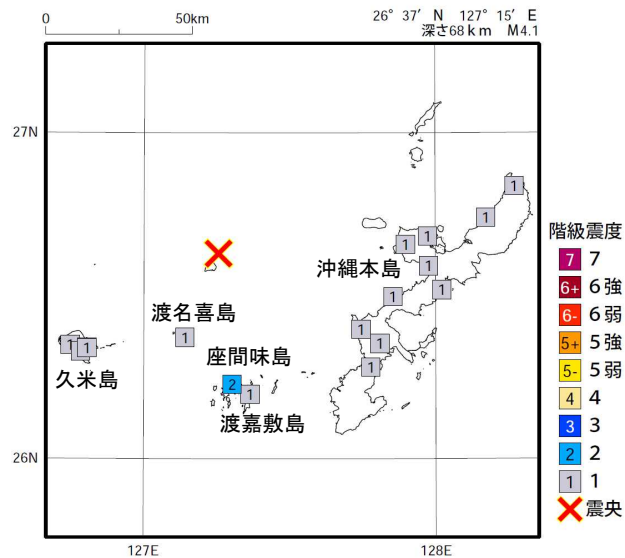
2019年 4月21日03時54分 沖縄本島近海の地震の震度分布図



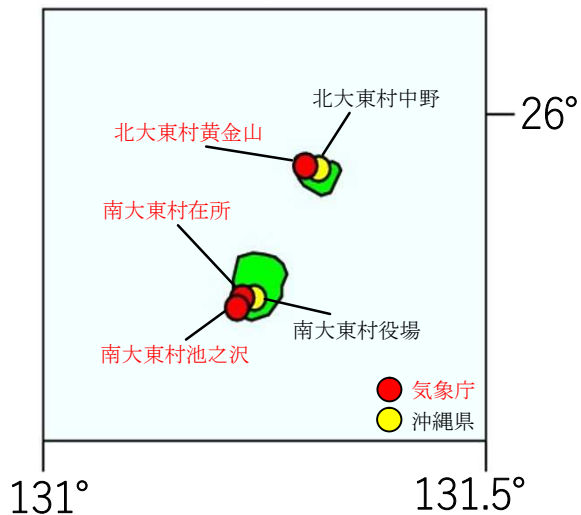
2019年 4月24日19時31分 沖縄本島近海の地震の震度分布図



2019年 4月28日00時30分 沖縄本島近海の地震の震度分布図



### 大東島地方の震度観測点



本件に関するお問い合わせ先  
(南大東島地方気象台)

電話 09802-2-2006

<https://www.jma-net.go.jp/daitou/>

# 沖縄の活火山と気象庁が発表する火山情報

～沖縄にも活火山があります～

私たちが暮らしている沖縄地方は、活火山とは無縁だと思いませんか？

活火山とは、おおむね過去1万年以内に噴火した火山や、現在も活発な噴気活動のある火山のことです。現在、日本には111の活火山があり、このうち沖縄県内には「硫黄島」と「西表島北北東海底火山」の2つの活火山があります。

## 沖縄の火山

### 硫黄島

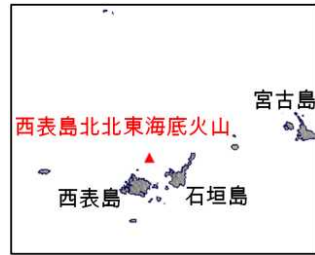


硫黄島島全景

(海上保安庁撮影)

●硫黄島は、鹿児島県徳之島の西方約60kmにある無人の火山島で、有史以降10回の噴火等の記録があります。1959年の噴火では、噴煙の高さは3000mに達し、噴石の飛散、降灰のほか、泥や硫黄が海上に流出しました。この噴火により全島民86人が島外に移住しました。

### 西表島北北東海底火山



●西表島北北東海底火山は、西表島の北北東約20kmの沖合にある海底火山です。1924年10月31日に、突如海底噴火し、翌日には付近の海面一帯に多量の軽石が漂流しました。その後、軽石は黒潮の流れで日本各地へ漂着しました。

日本活火山総覧(第4版) (気象庁編、2013) による。

## 火山現象に関する海上警報

火山現象に関する海上警報は、噴火の影響が海上や沿岸に及ぶ恐れがある場合に発表します。

緯度・経度を指定して、付近を航行する船舶に対して警戒を呼びかけます。

なお、情報の見方は右のとおりです。

火山現象に関する海上警報(船舶向け)

印刷 再読込

噴火警報-子報一覧

>説明へ

西之島 平成29年 4月20日14時観測 20日16時30分発表	} 火山名 発表日時
噴火警報 全船海上予報区 火山名: 西之島 噴火警報 北緯27度14.60分 東経140度52.70分 噴火による影響が及ぶおそれ 半径0.9海里以内の周辺海域警戒	

} 緯度・経度を指定して  
警戒事項を記載します。

戻る

> 航行警報(海上保安庁ホームページ)

このページのトップへ

## 火山の情報は気象庁ホームページで確認できます

硫黄島及び西表島北北東海底火山の2019年4月現在の噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況は、「噴火予報(活火山であることに留意)、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。」となっています。

気象庁が発表する火山に関する情報や資料の解説\*は気象庁ホームページで確認できます。

\* URL [https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/vol\\_know.html](https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/vol_know.html)